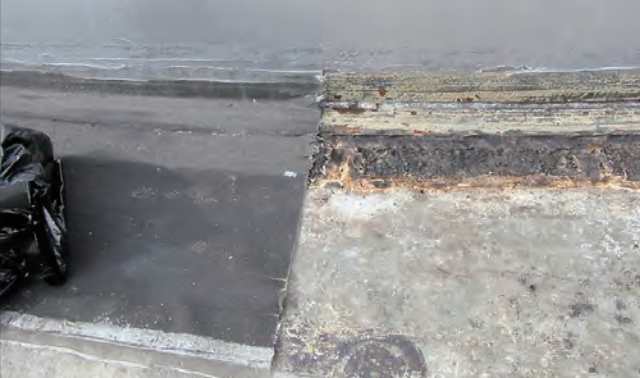




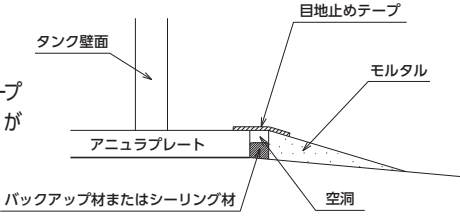
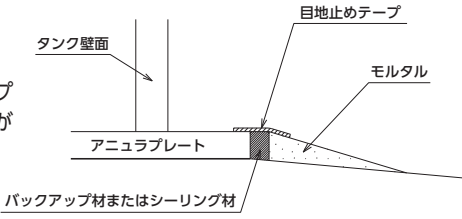

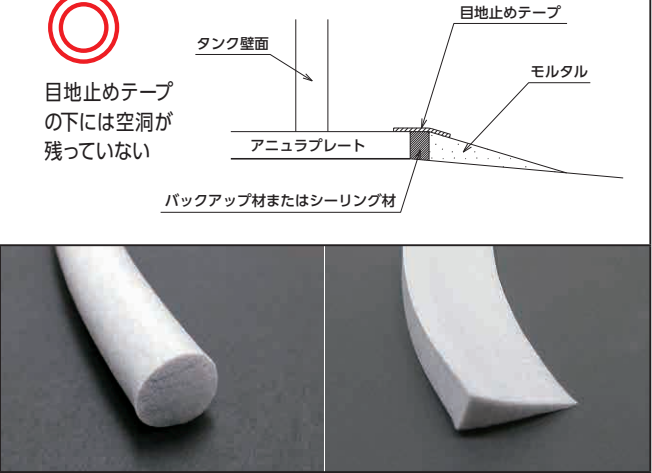

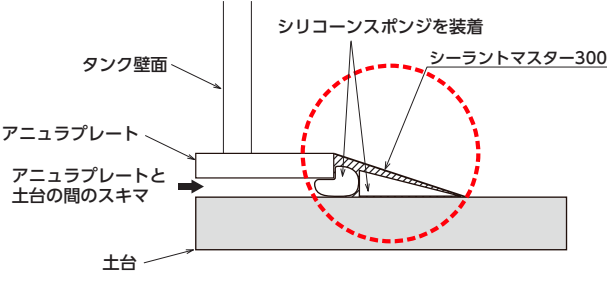
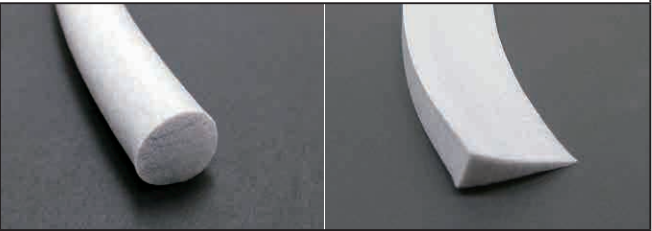






屋外タンク底部雨水浸入防止用シリコン粘着シート



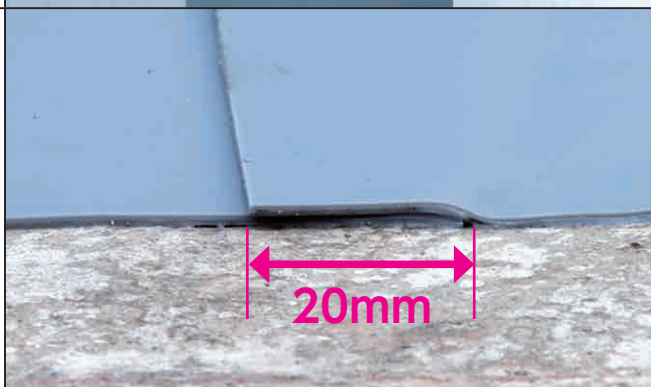
# イヌバシール<sup>®</sup> HNS-200



No.	施工手順	施工写真
<b>下地処理</b>		
<b>1</b>	<p>既存施工を除去します。</p>	
<b>2</b>	<p>既存施工除去後のクリーニング*を行い、汚れやサビを除去します。 ※ 原則2種ケレンを推奨します。</p>	
<b>3</b>	<p>アニュラプレート端部のエッジを緩和するため、当社製の一成分形中モジュラスタイプのシリコンシーラント「シーラントマスター 300」でシールすることを推奨します。 ※ 詳細は、最終ページ記載の完成略図をご参照ください。</p>	
<b>4</b>	<p>アニュラプレート端部の防サビ塗装を施します。防サビ塗装の塗装強度が弱いとイヌバシールが剥がれますので、塗膜強度のある塗装を行ってください。</p>	
<b>5</b>	<p>アニュラプレートの端部と土台との段差を埋めるために、モルタルによるスロープ付けを推奨します。 モルタルは、完全に乾燥・硬化することが必要です。</p>	





No.	施工手順	施工写真
6	<p>アニュラプレートの端部とモルタルとの間に目地止めテープを貼り、隙間をふさぎます。</p> <p>※ 目地止めテープは、アニュラプレートのエッジがイヌバシールに直接当たり、イヌバシールが切れることを防ぐ目的もあります。</p> <p><b>×</b></p> <p>目地止めテープの下に空洞が残っている</p>  <p><b>○</b></p> <p>目地止めテープの下には空洞が残っていない</p> 	  
7	<p>アニュラプレートと土台の間の段差は、モルタルによるスロープ付けに代えてシリコンスポンジ*のバックアップとシーラントマスター 300を用いることも有効です。</p> <p>*別途お問い合わせください</p> 	  
<b>施工前の検査</b>		
8	<p>塗装表面をアルコールなどを含浸させたウエスで拭き、塗料の移行や塗装面の浮きが無いことを確認します。</p>	
9	<p>凹凸やサビ・塗装の剥がれなどを確認します。</p> <p>塗装面は油分を除去し、小石・砂などが無いようにします。</p>	



No.	施工手順	施工写真
<b>イヌバシールの貼り付け</b>		
10	標準的な製品サイズは、幅300mm×長さ1000mmです。	
11	タンクの直径に合わせてシートの長さを調整します。 例えば、タンクの直径が15m未満の場合はシートの長さは500mm程度が適しています。	
12	イヌバシールのセパレータフィルムを剥がします。 低温時にセパレータフィルムが剥がしにくい場合は、加温することで剥がしやすくなります。	
13	粘着面を、タンク側面を起点に貼り始めます。 シートは引張らず、そのままの寸法形状で貼り付けます。シートと犬走りの間に、空気を巻き込まないように注意します。	
14	貼り付け後はシートを手で押すなどして、貼り付け面を十分に馴染ませます。	

No.	施工手順	施工写真
15	仕上げに、加圧ロールを使うことも有効です。	
16	貼り直しが想定される箇所は、粘着面に軽く水を塗布して粘着力を一時的に少し弱めることもできます。	
17	シートの重ね合わせ幅は20mm以上とします。	

## シリコンシーラントによるシール

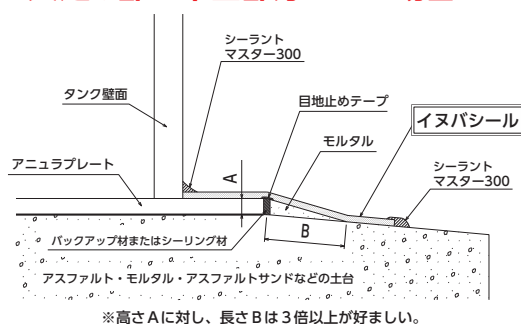
18	シーラントマスター 300を準備します。イヌバシールのシート2～3枚にカートリッジ1本が適量です。	
19	ノズルは、イヌバシールの梱包に入っている扁平ノズルに付け替えます。	

No.	施工手順	施工写真
<b>シリコンシーラントによるシール</b>		
20	最初に、タンク側面部にシールします。	
21	次に重ね合わせ部にシールします。	
22	最後に外側をシールします。 塗布量が少ないと接着不良や雨水浸入の原因になりますので、確実にシール施工してください。	
23	仕上げにコーキングヘラを使用することもできます。 マスキングテープを使用すれば、よりきれいに仕上がります。	
24	貼り付け面に浮きがないことを確認します。	

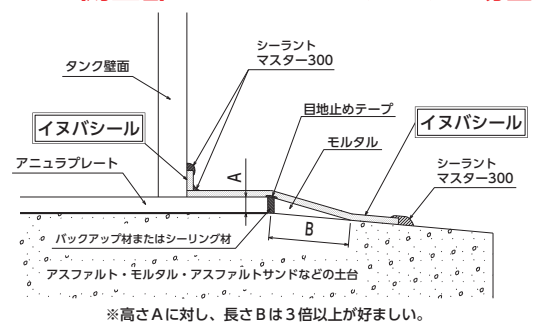
No.	施工手順	施工写真
25	<p>シーラントマスター 300は空気中の水分と反応して硬化し、接着するシリコンシーリング材です。</p> <p>このまま一昼夜おいて完成です。</p>	
26	<p>タンク側面への立ち上げが必要な場合は、短冊状にカットしたイヌバシールを貼り付け、同様にシーラントマスター 300でシールします。</p>	

完成略図

犬走り部の平面部分のみの場合



タンク側面部への立ち上がりがある場合



## イヌバシールについてのお問い合わせは

本社 シリコン事業本部 〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-1

営業第三部 ..... ☎(03) 3246-5101



大阪支店 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-11-4 損保ジャパン日本興亜肥後橋ビル ..... ☎(06) 6444-8226



名古屋支店 〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-5-28 桜通豊田ビル ..... ☎(052) 581-6515

福岡支店 〒810-0001 福岡市中央区天神1-12-20 日之出天神ビル ..... ☎(092) 781-0915

ご用命は

- 当カタログのデータは、規格値ではありません。また記載内容は仕様変更などのため断りなく変更する事があります。
- ご使用に際しては、必ず貴社にて事前にテストを行い、使用目的に適合するかどうかご確認ください。なお、ここで紹介する用途や使用方法などは、いかなる特許に対しても抵触しないことを保証するものではありません。
- 当社シリコン製品は、一般工業用途向けに開発されたものです。医療用その他特殊な用途へのご使用に際しては貴社にて事前にテストを行い、当該用途に使用することの安全性をご確認のうえご使用ください。なお、医療用インプラント用には絶対に使用しないでください。
- このカタログに記載されているシリコン製品の輸出入に関する法的責任は全てお客様にあります。各国の輸出入に関する規定を事前に調査されることをお勧めいたします。
- 本資料を転載されるときは、当社シリコン事業本部の承認を必要とします。

当社のシリコン製品は品質マネジメントシステムおよび環境マネジメントシステムの国際規格に基づき登録された下記事業所および工場にて開発・製造されています。

群馬事業所	ISO 9001 ISO 14001 (JCQA-0004 JCQA-E-0002)
直江津工場	ISO 9001 ISO 14001 (JCQA-0018 JCQA-E-0064)
武生工場	ISO 9001 ISO 14001 (JQA-0479 JQA-EM0298)

<http://www.silicone.jp/>